

いつかの恩返しのために

鹿児島市立黒神中学校1年 田中 璃杏

「入学してくれて、ありがとう。」

四月に、地域の方々によく言われた言葉だ。先日も、バスを待っていると、近所のおばあさんに

「毎日、散歩に来ているけれど、去年は、暗くてねえ。静かで寂しかったけど、今年は明るくなったから嬉しいよ。」

と言われた。中学校に入学したことで、このように地域の方々から感謝の言葉を頂けるのには理由がある。

それは、昨年、生徒がおらず休校となっていた、黒神中学校に入学したからだ。

六年生の冬休み、黒神中学校に入学するのか、少し離れた中学校に入学するのか何日も何日も悩んだ。家族でも何回も話し合いをした。そして、祖父母、母、兄達の通った学校に行きたいと考えるようになり、黒神中学校に入学することを自分で決めた。

入学式の日、私一人のために地域の方々が、集まってくれ、盛大に入学式が行われた。家族はもちろん、地域の方々もとても喜んでくれた。中学校生活も応援してくれる。

国税庁のホームページによると、平成三十年度の公立学校の生徒一人あたり教育負担額は、約百五万二千円になるそうだ。教科書や体育用具などに使われているそうだ。そして、学校の先生の給料にも使われている。

これまで税金は、食料品や燃料などを購入したときに払うもので、道路などみんなが使うものに使われると考えていた。中学生一人に、こんなにも使われていたことに驚いた。

また、税金は、物を買ったときに支払う消費税だけでなく、給料には所得税、土地には固定資産税など、多くの種類の税があることを知った。日本全国から集められた税金が、学校に使われている。

今、私は税金を納めていない。それなのに私たち中学生に多くの税金が使われている。親や地域の方々など、多くの大人に助けられて、今の学校生活があるのだと思うと、感謝するのは私の方だと思った。見えない所でもたくさん助けられていた。

黒神中学校では、生徒会活動の一つに、朝の埋没鳥居清掃がある。地域の方々も参加していて、七十年以上続いているものだ。桜島特産の椿油を作るときも、いつも地域の方々の手伝いに来てくださる。私が不自由なく学校生活を送るために多くの人の協力や税金が使われている。私は日々感謝の気持ちを忘れず、納税してくれた人たちに、応援してもらえるように中学校生活を楽しみたい。

将来、自分が税金を納められる時が来たら、これまで地域の方々に、私がもらった以上の幸せが訪れるように恩返しをしたい。しっかりと税を納め、過去と未来を感謝と希望でつなぐ税のリレーに参加したい。そのために私は、感謝の気持ちを忘れず中学校三年間を楽しく笑いのたえない、充実した生活を送り、恩返しをしたい。